

さんまのつぶやき



目黒さんぽ 「東京都写真美術館」



JR 目黒駅西口を出て右折し、山手線の線路とほぼ平行に走る目黒三田通りを恵比寿駅方面に真っすぐに歩きます。個人商店、オフィスビル、ホテル、マンションが混ざりながら建っているオフィス街とも住宅街とも言い切れない無秩序が魅力的な道を眺めながら歩き、厚生中央病院が見えたら右折して、線路をまたぐ幅広い陸橋を渡ってすぐ左手に立っているのが東京都写真美術館です。

道路に面した2階の南口から美術館の中に入ると、右手にはミュージアムショップ、左手には椅子が置いてあるロビーがあります。左側から光が差し込む、吹き抜けになっている大きな広い窓が印象的です。

総合受付は1階にあります。受付周辺の床は大理石で、天井に曲線で配置された照明も美しいです。総合受付でチケットを購入してから、地下1階、2階、3階の各展示室について展示を鑑賞するシステムになっています。

私は、美術館を訪ねた日に地下1階で行われていた、プリピクテ HUMAN / 人間という展示を鑑賞しました。展示室に入ると暗くて奥行きがあり、ゆったりと間隔を取って展示されている写真には写真が良く見えるようにライティングがされていました。この写真賞の重要なテーマである地球のサステナビリティという問題に

焦点を当てた12人の写真家の写真が展示されていました。世界の様々な場所で、それぞれが置かれた環境で生きる人々の生き様を切り取った写真家のメッセージが強く感じられる作品群でした。なかでも、今なお戦禍の中にあるウクライナで爆撃を受けた集合住宅から煙が立ち上る写真と柔らかな光がさすキッチンの窓辺にコンロにかけられた鍋から炊事の湯気が立ち上る写真が2枚一組になった作品が心に残りました。厳然として目前にある戦争という非日常の中で、それでもいつも通りに営まれる人々の日常との対比から戦争の悲惨さと平和のありがたさが伝わってきたからです。この展示室は、作品の撮影が許されていると明記してあったので、その写真を撮りました。ゆっくりと1時間以上かけてすべての展示を鑑賞して展示室を出ました。

外にでると、辺りはすっかり暗くなっていました。1階のカフェは夕方でも賑わっていました。美術館のすぐ隣は、恵比寿ガーデンプレイスにあるおしゃれなスタンド横丁 BRICK END でした。

いつでも思い立ったらすぐに行けて、帰りにはお茶をしたり、一杯飲んだり、食事をして帰ればよい気分転換ができます。展示が変わったらまた、行ってみようかなと思いました。(木佐木 慶子)

contents

- 1 目黒さんぽ
「東京都写真美術館」
- 2 支部長ごあいさつ
目黒区民まつり
- 3 広報月間無料相談会
目黒区士業交流会・初体験記
- 4-5 目黒支部賀詞交歓会に参加して
- 6 支部研修会
「不動産鑑定士の業務と
不動産の未来図を知ろう!」
を受講しました
支部研修会
「中小企業と在留資格」を
受講して
- 7 ようこそ目黒支部へ! 新人紹介
支部からのお知らせ
支部会員の異動
- 8 目黒支部の動き
行政書士無料相談
編集後記





支部長 ごあいさつ

目黒支部支部長 中島 貴史

平素は、支部の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

支部長の中島貴史でございます。

令和5年3月に総務省より「成年後見業務及び財産管理業務は行政書士の業務である」との通知が発せられました。また、4月には法務省のホームページに、行政書士が弁護士、司法書士とともに「相続土地国庫帰属制度手続の申請書作成代行業務ができる専門家である」と掲載されました。そして9月には私たちの全国組織である日本行政書士会連合会とデジタル庁が、「誰一人取り残されないデジタル社会」実現に向けた連携協定を締結いたしました。去年は行政書士にとってたいへん大きな飛躍の年となったのではないのでしょうか。

私たち目黒支部も、今の時点では種まきをしている段階ではございますが、東京都行政書士会の宮本会長が提言されている「かかりつけ行政書士」となるべく、地域の皆様との連携、他土業の皆様との連携、目黒区への死後事務委任制度活用の提案、法教育活動の実現、地域の皆さんが活用しやすいホームページの構築等、目黒支部が更なる飛躍をするための活動しております。

本年は、「街の法律家」「問題解決の専門家」に加え行政書士は「皆様の夢実現のお手伝いをする専門家」と多くの皆様に認知していただける様、活動してまいる所存です。皆様には引き続きお力をお貸しくくださいます様、お願い申し上げます。

目黒区民まつり



2023年10月8日10月8日（日）に、田道広場公園、目黒区民センター等において、第47回目黒区民まつり（目黒のSUNまつり）が開かれました。

目黒支部では恒例の相続クイズを実施しました。相続クイズは、従来質問用紙をクリップボードにはさみ、鉛筆による手書きで解答する形式で実施してきました。今年は従来の形式に加えて、タブレットやスマホでQRコードを読み込み、グーグルフォームを利用して選択肢をタップして解答する形式でも実施しました。その結果、クイズの〇付けが瞬時に終わり、来場者を待たせることなくクイズを楽しんで

広報部員 木佐木 慶子

もらうことができました。スマホを使うことで若い人には気軽にクイズに参加するきっかけを作ることができました。また、年配の方でも興味のある方には支部会員のサポートを受けながら挑戦してもらうことができました。

ブースでは、同時に相続手続きに関する無料相談も実施され、来場者からは主に相続を中心に多くの相談を受けました。



広報月間無料相談会

佐藤 雄一

2023年10月18日に目黒区役所内にて無料相談会が開催され、わたしも今年初めて相談員として参加をさせて頂きました。

開始一番から相談希望者が途切れず、お昼ごろまで満席状態が続き大盛況でした。更に、なんとその場にいらしゃった区役所の誘導係の男性まで、「私も少しいいかな?」とご相談の列にならんでいただくほどでした。

相談内容は、「相続」関連がもっとも多く、その他、行政書士登録のことを質問された方、不動産について、ピザ(入管業務)の関係のご相談等もありました。また、中には実際に書かれたという自筆証書遺言を持参された方もおられ、みなさま年に一度のこの機会を心待ちにいただいているようでした。ぜひ2024年度以降も、目黒区民の方々の期待に応えられるよう、またお悩みを一つでも多く解決に導くことができるように、続けていけたらと思いました。

課題としては、すぐ近くで弁護士会の相談会があったため間違えて来られてしまう方がいらしゃったり、相談者が午前中に殺到し待ち時間が長くなってしまったり、次回に生かしたい教訓もありました。予約制にするなどできると思います。

また、今回ご相談が多く聞かれた「相続」ですが、相続土地国庫帰属制度の承認申請書作成代行も行政書士の業

務として認められ、また法務局への相続登記の必須化もひかえており、今後もニーズが高まる分野であると思われる。

相続にフォーカスした法教育の場を、新たに区民に提供できたら、今より更に区民の行政書士に対する期待に応えることにつながるのではと考えております。



目黒区士業交流会・初体験記

片山 雅文

「士業は人脈。他士業にもパイプを持つことが大切だよ」。脱サラして士業を営む高校の同級生2人に昨年9月、行政書士登録したことを知らせたところ、異口同音のメールが返信されてきた。

確かに、行政書士の仕事は相続など他士業とバトンをつないでミッションを完遂させることが多いが、なりたての自分がどうやってそんなパイプを見つけたらいいのか。そう思っていたときに開かれたのが、目黒支部主催で昨年11月17日、目黒区役所内の食堂で行われた「目黒区士業

交流会」だった。

コロナ禍で4年ぶりの開催とあって各士業から約50人の先生方が集まり、熱気に包まれていた。63歳の新人の初体験だから緊張して臨んだのだが、杞憂だった。たまたま最初に話しかけたのが副支部長の吉本昌広先生で、気さくなやり取りを交わすうちに気持ちもほぐれてきた。自分でも驚くほどのペースでさまざまな方々と会話が弾み、貴重なお話をうかがうことができた。あっという間の2時間で、交わした名刺は二十数枚。何より、とても前向きな気持ちになれた。

きっと同じような思いで参加されたのだろう。開業して日が浅い先生方が多かったように思う。皆さんがいかに会話に熱中しておられたかは、たくさん余った料理が端的に物語っていた。もったいないことではあるが、会話に忙しくて食べる間がなかったのだろう。かくいう自分もほとんど口にならなかった。心待ちにしている次回では、しっかり料理も楽しみたい。



目黒支部賀詞交歓会に参加して

吉田 修作

目黒支部賀詞交歓会はコロナ禍の期間は開催できませんでしたが、3年ぶりに1月26日午後6時より目黒雅叙園4階孔雀の間で開催されました。

目黒支部中島貴史支部長、東京都行政書士会宮本重則会長、東京行政書士政治連盟の会長の代理挨拶で開宴。宮本会長のご挨拶の中では、行政書士法遵守・注意喚起プレート等の設置・拡大への取り組みについてのご説明がありました。途中で青木英二目黒区長も駆けつけられ、スピーチの中で行政書士会の行っている相談会への謝辞があり、今後も行政書士の皆さんの活躍を期待するとの言葉がありました。

多数の他支部の代表もご参加いただいたとともに、税理士会、社会保険労務士会の代表の方もご参加になられ、活発な懇親が行われ盛会となりました。

後半には、この3年の間に登録した新入会員のご紹介の場も設けていただき、皆様にご紹介いただけたことに感謝しています。

こうした会を催していただいた支部に感謝申し上げます。そこで得た新たな知識や人との繋がりを、今後の行政書士の業務に活かして行きたいと考えております。



賀詞交歓会感想

植田 健一

昨年行政書士登録を行い、初めての賀詞交歓会を運営側に立って参加させて頂きました。

その中で感じたのは行政書士として必要なネットワークの広さです。式次第をご覧になっても十分認識出来ることと思いますが目黒区関係部署は当然として法曹界、社労士会、会計士会、都下各行政書士会、各政党、政策金融公庫関係者等。式次第に掲載されることなく参加を見合わせた団体関係者の方もいらっしゃいましたが、それらの方々を含めたご来賓の皆様方への準備を行うだけでもその多さと幅広さを痛感させて頂きました。

願わくは今後このような方々との親交を深め、将来行政書士としての対応を超える問題に出会ったとしても、ハブとしてより幅広く皆様の問題に応えられる行政書士となって行きたいと感じました。



支部研修会「不動産鑑定士の業務と不動産の未来図を知ろう!」 を受講しました

広報部員 茂田 陽子



2023年9月26日(火)鷹番住区センターにて、行政書士そして不動産鑑定士でもいらっしゃる金井宏之先生をお迎えし、「不動産鑑定士の業務と不動産の未来図を知ろう!」というテーマにて研修会が開催されました。

詳細なレジュメに基づき、前半では不動産鑑定士の業務内容について不動産の特徴や鑑定評価のご説明があり、後半ではアパート・マンション経営、賃貸不動産の鑑定や相続について、また、今後区分所有マンションに係る相続評価の変化や管理の在り方についての考え方等

をお話いただきました。

その中で不動産鑑定評価書を初めて拝見し、評価額はもちろんのこと、評価の理由やデータ等その詳細な内容に不動産鑑定士という業務の難しさを垣間見ることができました。

私事で恐縮ですが、実家が不動産賃貸に携わっている関係で今回の講義は大変興味があり、勉強になりました。特に「良い不動産とは利回りの低い不動産である」という言葉の奥深さにとても考えさせられ、改めて実家が抱える不動産内容を確認する良いきっかけとなりました。



支部研修会「中小企業と在留資格」を受講して

広報部員 竹松 千明



2023年12月2日(土)目黒区八雲住区センターにて、渋谷支部の志水晋介先生を講師にお迎えし、「中小企業と在留資格」と題した支部研修会が開催されました。志水先生は、行政書士として豊富な実務

経験をお持ちだけでなく、伊藤塾や桐蔭横浜大学で講師としても活躍されています。

まず、厚生労働省などのデータを基にした人手不足・外国人雇用の現状に関するご説明があり、その後、外国人の入国手続き・在留資格の概要、そして特に中小企業に関係のある就労系の在留資格についてお話いただきました。在留資格の中でも、特定技能1号・2号は人材不足の解消を図るため今後も益々重要になってくると思われます。この資格ならではの義務や注意すべきポイントを解説いただき、大変勉強になりました。

最後に、志水先生が相談を受ける際に留意されているこ

とや具体的な事例、そして実際に使用されているヒアリングシートのフォーマットなど、実務に直接役立つ情報をご提供くださいました。すでに中小企業の外国人雇用に携わっている参加者にとってはもちろん、これからこの分野に挑戦しようと考えている参加者にとっても、大いに役立つ有意義な時間となったことと思います。





ようこそ目黒支部へ! 新人紹介



田家 修

昨年8月に行政書士登録しました。目黒区に長く住んでおりますが、あまり地域と関係のない生活を送ってきました。今後は地域のために役立つことをと思い、ボランティア活動のかたわら、かかりつけ行政書士を目指して精進しております。



眞鍋 和史

2023年12月1日に目黒区南にて開業しました眞鍋と申します。

神戸市出身でこれまで20年以上IT業界でシステムエンジニアやITコンサルタントの業務に携わってまいりました。

大企業相手のコンサルティングをしていく中で、もっと経営者に寄り添った中小企業の支援をしたいと考えようになりました。

法人設立や許認可、補助金申請を中心とした中小企業支援をメイン業務にしていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



片山 雅文

60の手習いならぬ63の新人として昨年9月に行政書士登録し、目黒支部に入会しました。産経新聞社で41年間勤務し、長らく事件記者として活動。グリコ・森永事件や山口組・一和会抗争を発生時から取材しました。米ロサンゼルス特派員を経て、編集局長やサンケイスポーツ・夕刊フジの代表などを務めました。ぴかぴかの一年生とはいきませんが、取材で培った「聞く力」を活かし、信頼される行政書士を目指したいと思ひます。ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

《支部からのお知らせ》

東京都行政書士会目黒支部定時総会及び東京行政書士政治連盟目黒支部定期大会を下記のとおり開催いたします。

日時：2024年4月25日(木)
18:15～20:30

場所：中目黒住区センター
第5会議室

支部会員の異動

2024年2月20日現在の
目黒支部会員数は **146** 名です

登録 転入	片山 雅文	目黒区原町 1-24-14	03-3710-8387	登録・9月
	大森 元紀	目黒区上目黒 3-37-14-203	03-6410-9378	転入・9月(大田支部より)
	木村 浩康	目黒区青葉台 4-2-4-302	03-5738-7894	登録・10月
	眞鍋 和史	目黒区南 3-9-11-306	03-6825-2761	登録・12月
	漆島 孝音	目黒区中町 2-6-17	03-3719-6951	転入・12月(千代田支部より)
	尾関 紀篤	目黒区青葉台 3-1-8-405	090-3563-7228	登録・1月
変更	中島 貴史	目黒区目黒本町 6-22-3-201	080-5779-5663	変更・1月
転出 廃業	金 珍怡	転出・12月(渋谷支部へ)		
	香島 征希	廃業・12月		
	下川 眞規	廃業・12月		
	増田 勝美	廃業・12月		



目黒支部の動き

2023.9～2024.2

- 9月13日 支部役員会を開催
- 9月19日 DX推進委員会(旧IT部)リモート会議を開催
- 9月26日 支部研修会
「不動産鑑定士の業務と不動産の未来図を知ろう!」
を開催
- 9月30日 広報第45号を発行
- 10月4日 市民法務部会を開催
- 10月8日 目黒区民まつりに参加
- 10月13日 支部役員会を開催
- 10月17日 厚生部会を開催
- 10月18日 広報月間無料相談会を開催
- 10月31日 広報部会を開催
- 11月7日 厚生部会を開催
- 11月9日 研修部会を開催
- 11月17日 目黒区士業交流会を開催
- 11月21日 支部役員会を開催
- 12月2日 支部研修会「中小企業と在留資格」を開催
- 12月8日 企画開発部会を開催
- 12月14日 支部役員会を開催
- 1月18日 厚生部会を開催
- 1月26日 賀詞交歓会を開催
- 2月22日 支部役員会を開催

行政書士無料相談

2023.9～2024.2

※無料相談は、毎月第一月曜日の13時～16時、目黒区総合庁舎で行われています。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 9月4日 | 越智 秀也 | 及川 貴裕 |
| 10月2日 | 舘 素子 | 神谷 徹 |
| 11月6日 | 中嶋 眞弓 | 金子 倫子 |
| 12月4日 | 金井 宏之 | 金子 航 |
| 2月5日 | 田島 久江 | 金子 航 |

※12月及び2月の無料相談に関しては、本来の担当者が欠席となったため、急遽市民法務部長が代理で出席しました。

46

編集後記



■ 去年は約3年間共に活動して下さった堀喜一郎部員の退部がありましたが、この度新入会員の片山雅文会員が新たに部員として加わってくださることとなりました。新たな力を得て広報部が益々発展することを期待しています。(村中)

■ 賜ることができました先生皆様との貴重な御縁に感謝申し上げます、大切に致します。(伊藤)

■ 毎年「今年こそは良い年に」と思うものの、現実はなかなか難しいものです。ですが、たとえ心が擦り切れそうな毎日でも自分を見失うことなく過ごしていきたいです。(茂田)

■ 自然災害と人為的なミスによる事故で始まった令和6年。事前に備えようにも無理なことも多く、毎日生きていることに感謝して坦々と生きるしかない諦観の念を持ちました。(木佐木)

■ 日常生活を送る中でつい忘れてしまいがちですが、今年は特に一日一日を大切に生きることを意識して過ごしていきたいです。(竹松)



発行人 中島貴史
発行所 〒152-0002
東京都目黒区目黒本町6-22-3-201
Tel.03-6824-6896
編集人 東京都行政書士会目黒支部
村中 巴 / 茂田陽子 / 木佐木慶子
伊藤 究 / 竹松千明



[https://
www.meguro-gyosei.com](https://www.meguro-gyosei.com)